

みずほCustomer Desk Report 2019/06/24 号(As of 2019/06/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

[昨日の市況概要]				公示仲値	107.37
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.32	1.1295	121.17	1.2707	0.6920
SYD-NY High	107.73	1.1378	122.12	1.2748	0.6938
SYD-NY Low	107.05	1.1284	120.96	1.2643	0.6904
NY 5:00 PM	107.30	1.1368	122.08	1.2748	0.6925
NY DOW	26,719.13	▲ 34.04	日本2年債	-0.2400	▲ 1.00bp
NASDAQ	8,031.71	▲ 19.63	日本10年債	-0.1700	0.00bp
S&P	2,950.46	▲ 3.72	米国2年債	1.7699	▲0.36bp
日経平均	21,258.64	▲ 204.22	米国5年債	1.7964	2.11bp
TOPIX	1,545.90	▲ 14.00	米国10年債	2.0583	3.59bp
シカゴ 日経先物	21,190	▲ 270	独10年債	-0.2855	3.35bp
ロンドン FT	7,407.50	▲ 16.94	英10年債	0.8420	3.40bp
DAX	12,339.92	▲ 15.47	豪10年債	1.2755	▲1.45bp
ハンセン指数	28,473.71	▲ 76.72	USDJPY 1M Vol	6.34	▲0.01%
上海総合	3,001.98	14.86	USDJPY 3M Vol	6.60	0.01%
NY金	1,400.10	3.20	USDJPY 6M Vol	6.83	▲0.02%
WTI	57.43	0.36	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	178.52	▲ 0.11	EURJPY 3M Vol	6.80	▲0.01%
ドルインデックス	96.22	▲ 0.41	EURJPY 6M Vol	7.21	0.05%

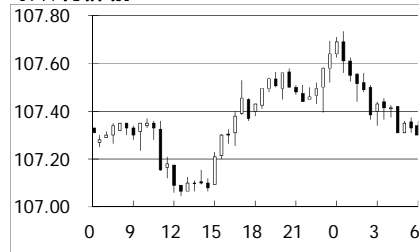
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月21日	08:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	5月 0.7%/0.8%/0.5%	0.7%/0.7%/0.5%
	16:30	独 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)速報	6月 45.4/55.6/52.6	44.6/55.2/52.5
	21:30	加 小売売上高(前月比)	4月 0.1%	0.2%
	22:45	米 マークイットPMI(製造業/サービス業/コンボジット)速報	6月 50.1/50.7/50.6	50.5/51/-
	23:00	米 中古住宅販売件数	5月 5.34m	5.30m

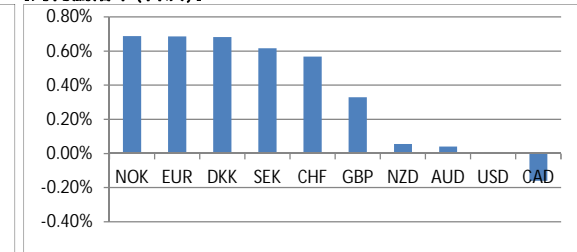
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月24日	08:30	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-
	14:00	日 景気一致指数・確報	4月	101.9
	17:00	独 IFO指数(企業景況感・期待/現況)	6月	97.4/94.6/100.3
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	5月	97.9/95.3/100.6
			-0.05	-0.45

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.60-107.60	1.1260-1.1430	121.50-122.70

【マーケット・インプレッション】

21日のドル円は行って来いの展開となった。発表された米5月中古住宅販売件数が市場予想を上回った他、米長期金利の上昇、ダウ平均やS&P500が史上最高値を付けたことから、ドル円も107.70円台まで上昇。しかしその後「米商務省が中国5組織をブラックリストに追加」との報道が伝わったことから上値の重い推移となり、結局107.30円台まで値を戻して取引を終えた。

本日のドル円は下落圧力が強まる展開を予想。本日、米国がイランに対して大規模な追加制裁を課す予定であることから、地政学的リスクが高まり、市場はリスクオフムードとなるだろう。ドル売り・円買いが先行し、下値を探る推移を予想する。

東京 東京時間のドル円は107.32レベルでオープン。朝方から米10年債金利が低下するなか、ドルは徐々に軟化した。日経平均株価の下落と共にドル円も大きく下落し、一時107.05を割った。その後は米10年債金利の反転上昇と共に値を戻す展開。107.30レベルまで戻して欧州時間へ渡った。(東京15:30)

ロンドン市場のドル円は、107.30レベルでオープン、週末前のショートボウジョウ調整でドル買い・円売りが先行し、107.50円台まで小幅に上値を切り上げる。その後、特段材料が出ない中、横ばい推移となり、結局107.48レベルでNYへ渡った。ポンドドルは、1.2685でオープン。朝発表された一連の欧州国経況指標が予想を上回ったことを受け、ユーロ買いでドル売りが優勢となる反面で、ポンドは下値を切り下げる。一時1.2643まで下落したものの、結局1.2662でNYへ渡った。(ロンドン・ケーブル0531 444 179 マクヒル)

米無人偵察機の墜落を巡って、米国とイランの対立激化で地政学的リスクが高まる中、海外市場のドル円は、リスクオフの円買いに一時107.05まで下落。しかし、心理的節目の107円50ちょうど付近では買い意欲が根強いほか、米金利が上昇したことに持ち戻られ、107.58まで買い戻され、107.48ルビでNYオープン。朝方は6月製造業 サービス部門PMIが予想を下回ると107.40まで弱含む。しかし、売りは長続きせず、10時発表の米5月中古住宅販売件数が予想を上回ったことから、上昇に転じる。さらに米金利の上昇や平均年々S&P500が史上最高値をつける動きに米組の買いが加速し、一時107.73を付ける。買い一巡後、ユーロ円ポンドに対してドル売りが強まったこと、米商務省が中国の組織をブラックリストに追加、他のアジアが伝わったことから、上値は重く、107.40近辺まで値を戻す。週末を控える中、終盤は安値圏で小動きとなり、107.30まで安値を更新し、そのまま107.30ルビでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、欧州時間に発表されたフランスとドイツの6月製造業PMIが予想を上回ったことから、1.1319まで上昇し、1.1317でNYオープン。朝方は1.1334まで上昇するが、米金利の上昇にドルが買い戻され、1.1314まで反落。その後、ユーロ円の上昇にサポートされ、じりじりと上昇。6月7日高値(1.1348)や200日移動平均線(1.1351)等のテクニカルなレベルを上抜けると、ユーロの買い戻しが加速し、高値1.1378を付ける。終盤は高値圏で小動きとなり、1.1368でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事柄は随時改訂し変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断と責任のもとにお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも発行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でご提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・原田